

オーバーテイクブースター説明書

OVERTAKE BOOSTER

POWER & COMFORT

Vol.1

この度は弊社製品<オーバーテイクブースター>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品は車両の加速を極度に向上させるコントローラーです。本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

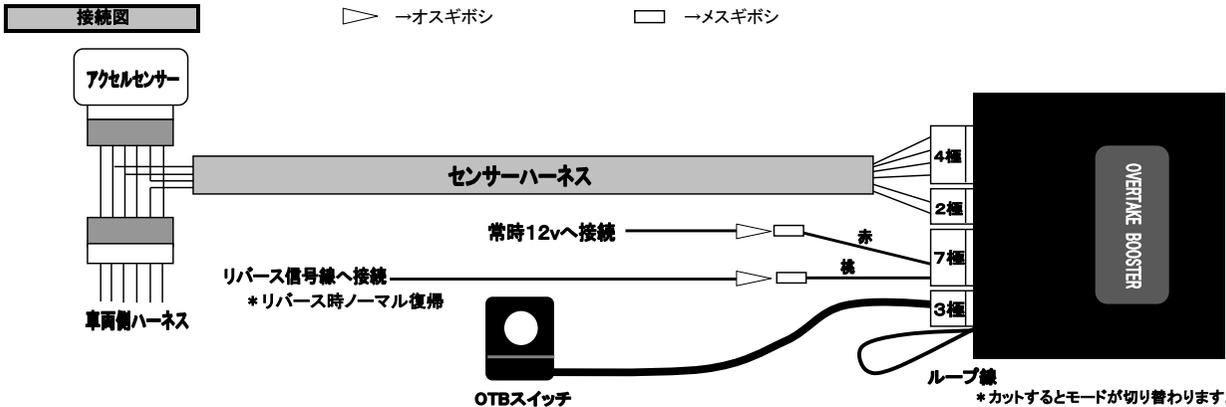
以下文面にてオーバーテイクブースターを<OTB>と略さず表記致します。
お願い! 本製品は性能向上、適合追加他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなって下さい。

- 警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。**
- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
 - 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。
 - 本製品は電子スロットルの制御を目的に製作されています。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす場合が考えられますので十分慎重に取り扱して下さい。なを何かの原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負えませんのでご了承下さい。
- 注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。**
- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
 - 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
 - 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

注意! オーバーテイクブースターと市販スロットルコントローラーを組み合わせることは出来ません!

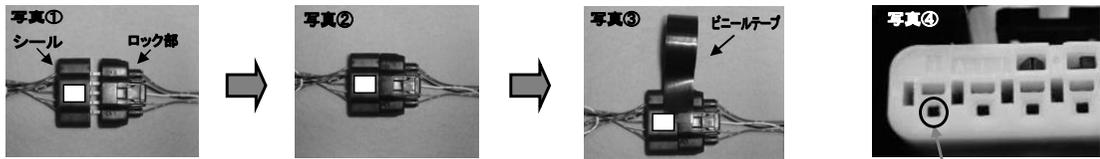
取り付け時の注意
 ●取り付けが完了したら、エンジンを始動させる前に必ず<初期設定>をおこなって下さい。

- 注意!** ■取り付け作業はエンジン停止後、**車両電源が完全にOFFになったのを確認してから作業を開始**して下さい。
 →キースイッチを抜いても数分間電源がOFFにならない車両があります(時間は車両により個体差があります)
 →電源がOFFにならない状態で作業をおこなった場合は車両ECUが『エラー認識』をしてエンジンチェックランプが点灯してしまうことがあります。
- 注意!** ■取り付け作業はバッテリーをはずさずにおこなって下さい→バッテリーをはずした場合はアイドリング学習、他設定が必要になります。
- 電子スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には注意して慎重に作業をおこなって下さい。
 - 接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、やエンジンチェックランプ点灯等の状況が出てしまいます。この場合専用の機器しかエンジンチェックランプの点灯を消すことができない場合があります。慎重に作業をおこなって下さい。

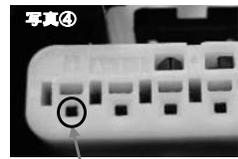


- 取り付け手順**
- 注意!** 取り付け作業はエンジン停止後、**車両電源がOFFになったのを確認してから作業を開始**して下さい。
- ①車内アクセルペダル根元にあるアクセルセンサーのカプラーを抜いて下さい。
 - ②抜いたカプラーにセンサハーネスのカプラーを確実に差し込んで下さい。

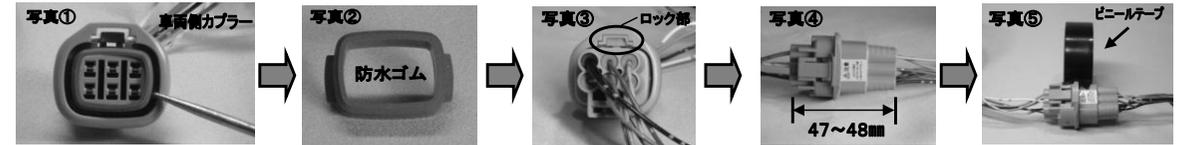
- C##・G##・J1#・P##・L2#・M1#の注意点**
- このタイプのハーネスのカプラー部はオス端子側がゴムになっています。上下方向の向きがあります。写真①、②を参照にし、黄色シールが貼ってある部分と車両側のロック部分を合わせて装着して下さい。
 - 上下間違えるとセンサー破損の可能性があります。間違えないように慎重に作業をおこなって下さい。
 - ゴム製カプラーは、装着後**必ずテーピングにて固定して下さい。**(写真③)



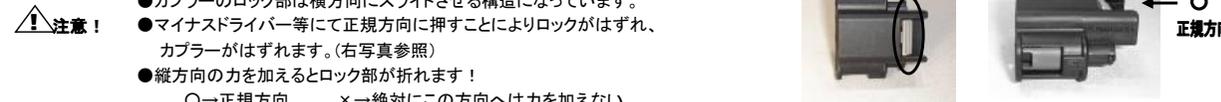
●P##の装着する場合、オス側(ゴム側)接続の際は下記注意事項を確認のうえ作業をおこなって下さい。(写真④)
 →オス端子は下記写真の細い穴に差込ます。差し込み位置を間違えると、ピン破損の恐れがあります。慎重に作業をおこなって下さい。



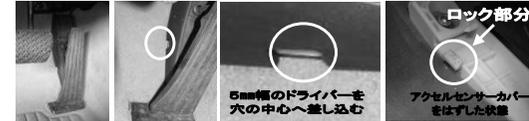
- A1#の注意点**
- アクセルペダル根元にあるアクセルセンサーのカプラーを抜いて下さい。
 - 車両側カプラーの防水ゴムの外装を外して下さい。(写真①②)
 *防水ゴムの外装を外さないと装着しずらく、接触不良もしくは警告灯が点灯いたしますのでご注意ください。
- 注意!**
- 抜いたカプラーにセンサーハーネスを確実に割り込ませて下さい。
 - *カプラーの上下がわかりずらい構造になっていますご注意ください。
 - *カプラーに貼ってある黄色シールを目安に確実に装着して下さい。
 - *オス側は特殊形状の為、ロック部分が完全にかみ合いません。(写真③)
 - *ハーネスを装着した状態の寸法は47mm~48mmになります。(写真④)
 - 装着後**必ずテーピングにて固定して下さい。**(写真⑤)



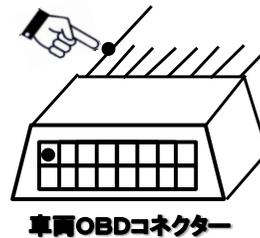
- L2#の注意点**
- 無理やり車両カプラーを抜こうとすると車両カプラーが破損します
 - カプラーのロック部は横方向にスライドさせる構造になっています。
 - マイナスドライバー等にて正規方向に押すことによりロックがはずれ、カプラーがはずれます。(右写真参照)
 - 縦方向の力を加えるとロック部が折れます!
 ○→正規方向 ×→絶対にこの方向へは力を加えない



- M1#の注意点**
- アクセルセンサーカバーを下記方法によりはずし、アクセルセンサーを確認して下さい。
- <主に低年式車に装着されているセンサー>**



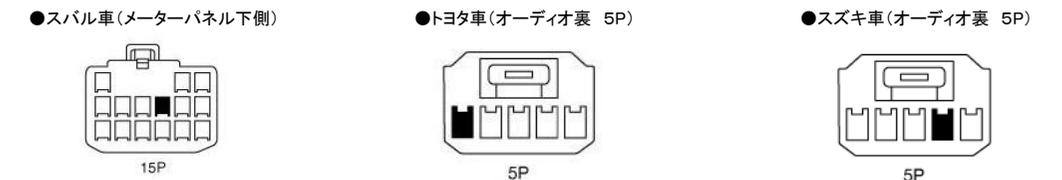
- アクセルセンサーカバーの左横の溝にマイナスドライバーを差込み、ドライバーをやや下に降ろします。この状態でアクセルセンサー全体をすこしずつ左へ移動させるとアクセルセンサーカバーが床よりはずれ、カプラーが出てきます。
 ※先端が幅5mm程度のマイナスドライバーを使用して下さい。
 ※穴の中心へまっすぐに差し込んで下さい。
- ③センサーハーネスの4極と2極カプラーをOTBのユニットに確実に差し込んで下さい。
- ④7極カプラーより出ている赤線を、車両の常時12v電源線へ確実に接続して下さい。
 ●ヒューズに10Aの常時12v電源があれば、付属のヒューズ取り出し電源ハーネスを使用して接続して下さい。10Aの常時12v電源ヒューズが無ければ下図を参考に車両OBDカプラーの常時12v電源へ付属のスプライスのみにより確実に接続して下さい。



- ★黒丸の位置が常時12v電源です。
- ★念の為、電圧計にて確認してから作業をおこなって下さい。
- ★接続はスプライスにより確実におこなって下さい。

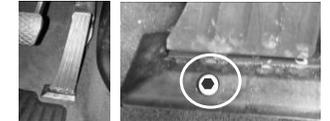
- ⑤7極カプラーより出ている桃線を、車両のリバーシ線へ接続して下さい。
 ●リバーシギヤを入れた時に12v発生する配線へ接続して下さい。
 *リバーシランプ電源線、サービスコネクター、ナビリバーシ配線、キャンバスアダプター等
- 注意!**
- 接続するとリバーシ時に完全なノーマル制御へ戻ります。接続しない場合、リバーシ時にアクセルを踏んだ時に急加速する可能性があります。
 - 接続しない場合はリバーシ時には必ずOTBスイッチを押し、ノーマル状態にて運転して下さい。

- 参考 サービスコネクター接続位置**
- 一部車両では、下記のサービスコネクターよりリバーシ信号が取り出せます。
 - 配線のささっている側より見た図です(重要!)
 - あくまで参考資料です。装着時にテスト確認後に接続作業をおこなって下さい。

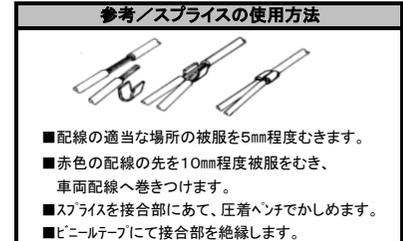


⑥コントローラーの7極カプラーをOTBへ確実に差し込んで下さい。

※アクセルセンサーは2種類ありますので車両を見て判断して下さい。
<主に高年式車に装着されているセンサー>



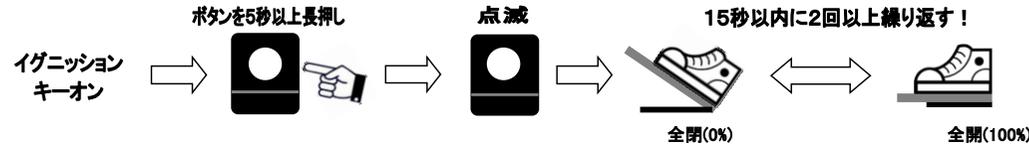
- アクセルペダルの根元の丸カプラーをはずし、六角ボルトをはずし、アクセルペダルを上方向に移動させます。
- 移動させるとアクセルセンサーカバーが床よりはずれ、カプラーが出てきます。



初期設定 初めて車両に装着する場合、装着車両を変更する場合に必ず必要です！

重要 初期設定を行わない状態で本製品を使用した場合、車両ECUがエラーと認識をしてしまいます。必ず正確な操作にて初期設定を行ってください。

注意 初期設定はエンジンを始動させない状態でおこなってください！



- ①イグニッションキーをオン状態にして下さい。
 - OTBスイッチのボタンのLEDが消灯もしくは2回点滅を繰り返します。
 - ②この状態からボタンを5秒以上長押しすると初期設定モードになりますーボタン点滅(1回点滅)&ブザー音
 - ③15秒以内にアクセル操作で、アクセル全開(0%)と全開(100%)を2回以上繰り返して下さい。
 - 1回でも可、念の為2回以上入力
 - この操作で、アクセル信号の0～100%の電圧値が入力されます。
 - アクセルペダルを踏み損じた可能性のある時は、②、③の操作をやり直して下さい。
 - ④15秒間の初期設定モードが終わると、『ピ～音』と共にLEDが消灯します。
 - ハーネスはずれ等で初期設定ができなかった場合は『ビィビィ音』のあとにLEDが2回点滅を繰り返します。
- 注意** 初期設定がきちんと認識されない場合はLEDが2回点滅を繰り返します。この状態の場合は各接続確認後、初期設定を再度おこなってください。

注意 ■初期設定をおこなわないで使用した場合はエンジンチェックが点灯してしまうことがあります。
■エンジンチェックが点灯してしまった場合は、エンジンチェックが点灯したままの状態、IGキーONで通常の初期設定をおこなってください。
初期設定終了後、正常な状態を3～5回車両に認識させてやりエンジンチェックが消灯すれば問題ありません。
エンジンチェックが消灯しない場合は、専用の機器にてエンジンチェックを消去して下さい。(カーディーター等の機器)

モード選択 本体より出ている青色ループ線をカット(切断)もしくはショート(接続)することによりモードを変更出来ます。

<POWER MODE>

- 青色ループ線をショート(初期状態)
 - 強烈な加速をするモードです。
 - 作動中は本体より断続的なブザー音が出ます。
- 注意** ●このモードにて使用する場合は、必ずリバースキャンセル線を接続して使用して下さい。

<COMFORT MODE>

- 青色ループ線をカット(ニツパにてカット後、カット面をテーピングして下さい)
- 快適な加速を追求したモードです。
- 作動中のブザー音が出ません。

注意 ■配線のカット、ショートは、必ずエンジン停止時におこなってください。

リセット方法 設定したデータをリセットする方法です。

注意 ●初期設定中にアクセルを1度も踏まないで内部データが全てリセットされ初期状態に戻ります。
●使用中に間違っってPOWERボタンを5秒以上、長押ししてしまった場合もデータはリセットされてしまいます。
*再度使用する時は、必ず初期設定をおこなってから使用して下さい。

ユニット固定

- 初期設定が終了したら、ユニットおよびスイッチを運転の妨げのならない位置へ固定して下さい。
- ユニットはじゅうたん下等に固定して下さい。(熱・水のかからない場所へ固定)
*ユニット及びハーネスは電源ノイズの多い機器、ハーネスからは遠ざけて固定して下さい。

スイッチ固定

- スイッチは両面テープにて固定して下さい。

作動確認

- ①エンジンを始動させて下さい。
- ②OTBのスイッチをオンした時とオフした時のアクセルレスポンスの違いがでるか？確認して下さい。
 - OTBが作動している間は安全の為、ユニットよりブザー音が出ます。
- ③リバースギヤを入れた時にLEDが消灯するか？確認して下さい。



例. 30プリウス

使用方法・注意



OTBスイッチ

- ボタンを押すたびに<OTB>⇄<ノーマル>が切り替わります。
 - *OTB状態はスイッチのLEDが点灯します。
- エンジン始動後、OTBスイッチのボタンを1回押すと車両のエンジンレスポンスが大幅に向上します。高速走行等にてアクセルを大幅に踏み必要がなくなり、より快適な運転をすることが可能になります。
- 市街地走行では状況に応じOTBを使用することをお勧めします。
- 雨天、雪等の条件の悪い状況での使用は十分に注意して使用して下さい。
- 上記項目を確認し自己判断、自己責任でOTBをご使用下さい。

トラブルチェック

警告 エマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は大変危険です、車両を安全な場所へ一旦停車させ、エンジンを停止し1～2分後にOTBをOFFの状態にて再始動させて下さい。

<LEDが2回点滅を繰り返す>

- OTBスイッチを5秒以上長押ししてしまった時に、データがリセットされて、この表示になってしまいます。初期設定をやり直せば正常に戻ります。

<エンジンを停止させてもLEDが消えない>

- 最近の車両は電子化により、数多くの電子機器を使用しています。エンジンを停止してもこれらの電子機器に蓄電された電圧が落ちるまで時間がかかります長いものでは、20分程度かかる車両もあります。しばらく消えないのは正常です。

<アイドリング不調>

- 初期設定不良の可能性があり。初期設定を再度おこなってください。
- 取り付け作業時にバッテリーをはずしてしまった時はアイドリング学習が必要です。カーディーター等にて確認して下さい。

<エンジンチェック点灯、吹けあがらない>

- キースイッチを抜いてから、完全に電源が切れる前に作業をおこなってませんか？(完全に電源が落ちてから作業をおこなってください)
- カプラーの接触、挿入方向を再確認して下さい。
- エンジンルームにもアクセルセンサーと同形状のカプラーがあります。エンジンルーム内のカプラーに接続した場合、正常に作動しません。
 - *必ず車内のアクセルセンサーのコネクターへ接続して下さい。(一部車両はエンジンルームにカプラーがあります)
- 装着車両を変更した時は必ず<初期設定>をおこなってください。

<エンジンチェックの消し方>

- エンジン始動 ⇄ 停止 を3回～4回以上繰り返す
 - *停止時はエンジンを停止させてから10～20秒おいてからエンジンを再始動させて下さい。
- 上記方法にてチェックが消えない場合はカーディーター等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらってください。